

第1回PTA部会 議事録

(1)日 時：令和4年5月20日（金）午後7時より、（教育会館 蘭・桜の間）

(2)参加者：委員（12名）、事務局7名

(3)内 容

①部会長あいさつ

②資料説明及び意見交換

- ・スクールバスの発着場について
- ・スクールバスの運行について

《部会長あいさつ》（省略）

《資料説明及び意見交換》

（スクールバスの発着場について）

事務局 ・勝山市立中学校再編計画抜粋（P7.8.11）を説明

委員1 ・以前の検討会では、車での送迎を前提として考えてはどうかという意見があった。現在もかなりの送迎の車があるのではないかな。

委員2 ・ジオアリーナで乗り降りする生徒の数はどのくらいか。バスは何台ぐらい出入りするのかな。

事務局 ・資料4を説明。（スクールバス利用人数（案））

資料5を説明。（ジオアリーナ周辺写真）

委員3 ・台数が多くなるなら、市営駐車場も利用してはどうか。地区別に発着場を変えることも考えられる。

委員4 ・市営駐車場からの細い道は冬除雪するのかな。大きく回る必要が出る。逆に除雪すればということもある。到着時刻にもよる。

委員5 ・中学校と高校の始まる時間はどうなのかな。中学校は8時だと思うが。

委員6 ・高校は8時20分に教室に入らなければいけない。

委員7 ・中学校は7時50分登校完了、8時に教室着席である。

事務局 ・相談して時程の調整はできる。

委員8 ・中学校は中学校、高校は高校という登校の方法もある。

委員9 ・高校生も同じバスに乗ると全員とは言わないが中学生が萎縮してしまうのではないかな。運営の問題もあるが分ける方法もある。中学はジオ、高校は市営駐車場にすることも考えられる。

委員10 ・高校生は3km未満でも車で送ってくる。中学生も送ってくるのが予想される。バス対象外の地域からの車の送迎も出てくるだろう。

委員11 ・送迎は正門じゃないとだめなのかな。まだ中学校の玄関が決まっていない。

委員12 ・なぜ発着場の議論をしているのかな。

事務局 ・準備委員会でジオは西風が強いという話が出たが、バスは一方向にジオの体育館のまわりを回り、生徒は近くで降ろすことを想定している。他の懸念がないかの確認のため、発着場について意見を伺っている。

委員13 ・バスの子は近くまで来て送迎の子は歩くのはどうか。並行して考えないといけな。

- 委員 14 ・今、勝高は車での制限はあるのか。
- 委員 15 ・入ってくるルートが1本にしているだけで制限はない。登校時は長山下の電話ボックスより高校側に入らないでほしいと案内している。時間帯によってその周辺が滞る。計画にある保護者の自家用車による登下校の場合にあっても発着をジオアリーナとするのは、中学校だけか。もし高校もなら生徒達が不便を感じるのではないか。
- 事務局 ・現在の状況では高校生に徒歩の生徒、自転車通学生がいて、そこに中学生の徒歩の生徒、自転車通学生、さらに送迎の車が来ると今よりも危険度は増すので、このことについて話し合うことも必要。
- 委員 16 ・スクールバスの運行の形も聞いて考えるとどうか。バスの利用が増えれば送迎は減るのではないか。
- (スクールバスの運行について)
- 事務局 ・資料2(地域交通イメージ)、資料3(公共交通サービスの現況)を説明。
- 委員 1 ・高校生は現在公共のバスをどのように使っているのか。
- 事務局 ・現在は資料3のように各路線ごとに運行している。今後は路線バスをなくし、朝・夕は資料2のような運行形態にできたらと考えている。さらに中高生だけにするのか、一般の方も一緒にするのも検討していただきたい。
- 委員 2 ・ルートも考えなければいけないがスクールバスだから一般の方は別の方がいい。
- 委員 3 ・現在は、中学生は7時のバス、高校生は1本後のバスで混雑を避けるようになっている。片道200円だが、スクールバスになって間に合わない子は実費で行くのか。お年寄りの足はどうするといいか。バスがぐるっと回ると10分のところが20分かかるのではないか。それなら車の送迎がよいと考える子が増えないか。
- 事務局 ・朝夕はこのイメージで日中はデマンドで運行できないかを考えている。
- 委員 4 ・病院へ行くお年寄りはこのスクールバスには無理になるのではないか。
- 事務局 ・時間帯は少しずれると考えている。スクールバスはスクールバス、お年寄りは8時半以降、病院へという形がとれるのではと考えている。
- 委員 5 ・近所の子が間に合わないから乗せてほしいという場合どうするのか。3km未満の生徒は乗ってはいけないとするのか。
- 委員 6 ・自転車の通学許可の範囲はあるのか。北部はないようだが。
- 委員 7 ・南部は生徒数減により自転車小屋に余裕が出てこの春は1.3kmにした。中部は1.5kmで徒歩が多い。
- 委員 8 ・かばんは重い。それを持って3kmは大変。
- 委員 9 ・勝山駅の近くの生徒がいて冬にバス通をしていたが1時間ぐらいぐるぐる回って来ていた。このイメージでバスに乗ると何分かかかるのか。
- 事務局 ・一番遠い子でも30分ぐらいが目途と考えている。大型バスが通れないところは小型で回り時間短縮を考えている。
- 委員 10 ・この図だとバス停に止まることになるのではないか。

事務局	・スクールバスだと北部中から直行のようになり、一般の方が載るとバス停に停まる必要が出る。
委員 11	・乗り換えは必要なのか。荷物は学校において帰るものもあるが部活のものもあり多い。
事務局	・そこも検討していただきたい。この案はより短時間で多くの人を乗せていってジオアリーナにつくバスの台数を少なくするもの。
委員 12	・この案だとより自分の家に近いところから乗れる。直行便にするとその場所までは行かないといけない。
委員 13	・昔、バスに乗って帰ったがいろんなところを回るのですごく時間がかかった。平泉寺から猪野瀬をまわってまた南中で乗り換えてでは、子どもは耐えられないのではないか。
委員 14	・先ほどの話で最長30分と言われたので平泉寺は回らないのではないか。矢印も左右両方にある。
事務局	・この青い破線で1台ではない。家の近くまでで何台かで集めてくる。
委員 15	・1台で集めると思っていた。何台かで集める図は出来ているのか。
事務局	・放射線状に集める形になると思うがまだ想定できていない。
委員 16	・各地区ごとにバス路線は別々に走るというイメージと考えればよいか。
事務局	・先ほどから心配してるような遠回りはないように出来るだけ最短で行けるようにしたい。中学校が想定しやすいと考えて置いたが、ハブの場所は別の広い場所でもいい。
委員 17	・南部中（ハブ）は3km以内なので、3km以遠の場所にハブを作ると南部中の近くの子は乗らないのではないか。
委員 18	・滝波の子は中部中学校まで距離がある。勝高になるとさらに遠くなる。しかし3km以内だからバスは乗れない。夏は自転車で行くが冬は厳しくなる。季節によって柔軟に考えてはどうか。
委員 19	・大野は夏と冬でちがった。冬になると近くの子もスクールバスに乗れる。夏はバスが通っても近くの子は乗れないので自転車で来る。一般の方はだれも乗っていない。
事務局	・ハブになる南部中へ自転車で行くのもOKか。駐輪場が必要になる。
委員 20	・3kmぎりぎりの生徒が難しくなる。もう少し短くするとか。冬はフォローできるといい。
委員 21	・早い便が戻る時間があれば2便作ることもできるのではないか。
委員 22	・2便作ってもらえるといろいろな選択肢ができる。ハブに自転車でくる子が多くなると駐輪場があるところになるのではないか。
委員 23	・なぜハブが必要なのか。直接行った方が早いのではないか。
事務局	・近くまで行くとすると細い道がかなりある。300人をジャンボタクシーにすると30台になり運転手の確保が難しい。
委員 24	・ジオアリーナが混雑する。送迎の車もかなりある。
委員 25	・送迎の車を減らすためにスクールバスの利便性を高めようとするとうりがいい。

- 委員 27 ・自分は中学の時バスだった。順にバス停で乗って行けた。直接だといい。
- 委員 28 ・自分はバス停まで1 km 以上あった。乗り換えの問題より近くにあった方がいい。
- 委員 29 ・直行で行くバス、ハブ方式で行くバスと考えてはどうか。
- 委員 30 ・人と同じく車の確保も考えないといけない。部活時間のちがいや休日などはどうなるのか。
- 委員 31 ・中学校は5時40分、5時50分で完全下校。高校は6時半で7時が完全下校。部活がないと高校は4時半。
- 委員 32 ・帰りは何便かを考える必要がある。土日の動きもある。
- 事務局 ・部活動時間もバラバラになる。こういった運行がいいのか、日中のダイヤに戻すのか、別のものかは検討していきたい。
- 委員 33 ・大野は土日走っていない。
- 委員 34 ・遅刻や早退の子は日中のダイヤになるのか。
- 事務局 ・フルデマンドになると30分ぐらいの待ち時間で対応できると考えている。バス停だけでなく、家の前まで行くデマンドもある。
- 委員 35 ・北郷だといくらくらいか。
- 事務局 ・今は200円だが、距離や時間のこともあり、交通審議会にも凶るので値上げの議論はあるかもしれない。
- 委員 36 ・どの学校でも現在は保護者が対応しているので、遅刻や早退までは考えなくてもいいのではないか。朝と帰りの決めた便以外は各家庭でカバーすれば十分ではないか。
- 委員 37 ・共働きで親は福井へ向かうので戻っての送りは難しい。祖父母は高齢で送迎を頼めない。今までは自転車で行ける距離だったが難しい。
- 委員 38 ・公共交通の方でカバーできる予定だと説明があったのでお金を出せばいいのかなと考える。
- 委員 39 ・大野市内はテスト期間や全体が早く帰る場合に対応しているのか。
- 委員 40 ・スクールバスは対応している。
- 委員 41 ・全体が関わるときにはスクールバスを出して、個人的な場合や部活など現在基本的に親がやっていることまでスクールバスで対応する必要はないのではないか。祖父母の送迎には配慮が必要かもしれない。
- 委員 42 ・今の高校生にはスクールバスはない。必要なのか。
- 委員長 ・それも話し合う必要がある。中学校で使っていた子が高校生になると使いたいという声があるかもしれない。
- 委員 43 ・仕組みになれば1年目より2年目、2年目より3年目と利用率が上がるかもしれない。
- 部会長 ・新しいバスのルートを決めてそれにスクールバスを当てはめるのか、ある程度具体的なコースが見えてこないと話し合いは難しい。
- 事務局 ・市民の使うバスはこのようになるだろうが、家の近くで乗っていく方がいいが乗り換えという課題がある。スクールバスだから朝夕は直行にする。それぞれのメリットデメリットを整理して次回に出すという形でどうか。

- | | |
|-------|---|
| 部会長 | ・各学校のPTAに持ち帰って話をつめてもらうことも必要。 |
| 事務局 | ・必要があればこちらも説明の補助に行く。 |
| 委員 44 | ・もう少し資料ができた段階で話し合いができればありがたい。 |
| 部会長 | ・各学校のPTAと言ってもせめて役員会で話してもらおうとどうか。先にはなるが、ある程度まとまったところで市教委から各ブロックに説明会を開いてもらう必要はある。 |
| 事務局 | ・事務局で相談して考えるが7月、8月にはもう1回やりたい。 |

資料1. 勝山市立中学校再編計画抜粋

資料2. 地域公共交通イメージ図

資料3. 公共交通サービスの現況

資料4. スクールバス利用人数(案)

資料5. ジオアリーナ周辺写真